

東御市立図書館評価

令和5年度の取り組み結果と令和6年度目標

評価段階	A…計画通り実施し、一定の成果があった。 B…概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。 C…不十分な点や課題が多く、計画通りに行かなかった。
------	---

★東御市「総合計画」に基づく評価

施策	目標	評価対象事業	総合計画の目標値	令和5年度目標	令和5年度取り組み結果	自己評価	外部評価指摘事項	外部評価	令和6年度目標
⑱確かな学力豊かな心、健やかな身体を育む教育の推進 ⑳人づくり、地域づくりにつながる生涯学習の推進（R6～総合計画）									
・地域の情報の収集・提供の拠点として、市民の「読みたい・調べたい・学びたい」に応える図書館を目指します。									
		ア 図書館利用者の増加	年間来館者11万人	・来館者100,000人 （総合計画を基に、コロナの影響が無いとした場合の算出）	・来館者 70,155人 (R4実績：63,110人) (R3実績：66,880人) ・R4年度比較約10%の増となった。	B	・10%増ならAで良い。 ・前年度を上回ったが目標を大きく下回る人数であったので、実態分析し目標設定したい。 ・コロナが終わり今後の増加に努力する必要がある。	B	・令和6年度からは貸出冊数を目標値とする。 貸出冊数 162,000冊
		イ 蔵書の充実	R6年度（2024年度）を修正 ↓ R8年度（2026年度）までに18万冊	・蔵書数 172,000冊	・蔵書数 172,000冊 (R4 168,848冊) (R3 166,013冊) ・3,152冊の増となった。	A	蔵書数の増加が適切になされている。	A	蔵書数 175,000冊
		ウ 市民ニーズの把握	3年毎にアンケートを実施。利用者のニーズを把握し改善する。	・図書館行事やサービスを市報、HP、FMとうみ、FMとうみアプリ、LINE等で発信する。	・市民300人に(86人回答)アンケートを実施。（図書館利用者55%） ・課題である図書館のPR不足を解消するため広報周知を強化した。	B	・宣伝されているのを聞く、PRは前より広がっている。 ・質問に月何冊読むかを入れると、何か見えてきそう。 ・回答率をもう少し上げたい。市民の使い易さという点で工夫ができると良い。	B	課題を洗い出し、改善を図る。
		エ 図書館評価	内部・外部の評価を実施し、公表する。	・R4年度評価結果を公表し、図書館運営の充実を図る。	・R4年度評価結果を令和5年9月に館内及びHPに公表した。	B	・図書館を利用しない人達には伝わりづらい。利用拡大に向け市報にQRコードを載せHPへとぶと良い。	B	R5年度評価結果を公表し、図書館運営の充実を図る。

★東御市立図書館「基本理念」に基づく評価

基本目標 ～出会いを楽しむ 学びと創造の拠点づくり～

施策目標	評価対象事業	中期的目標	令和5年度目標	令和5年度取り組み結果	自己評価	外部評価指摘事項	外部評価	令和6年度目標
1 読書や学習活動を支え、出会いと交流を楽しむ図書館								
① 市民の読書環境、学習環境の充実を図ります。								
	読書環境の整備と充実	蔵書の充実・予約サービス等各種サービスを充実し利用者が満足する読書環境を提供する。	・寄贈本の積極的な受け入れ450冊発行して1年以内の本、特に絵本、紙芝居、児童書を依頼し図書館の蔵書不足と、市民が読み終えた本の有効活用を図る。	・寄贈本490冊	A	・古くても良い本はある。内容重視も必要、本は見た目だけではないと思う。	A	寄贈本の積極的な受け入れ490冊発行して1年以内の本、特に絵本、紙芝居、児童書を依頼し図書館の蔵書不足と、市民が読み終えた本の有効活用を図る
② 市民のニーズに応えるさまざまな講座を開催し、学習・交流の場を提供します。								
	朗読講座	朗読等の講座を開設し、朗読の技術向上を志す市民の交流の場を提供する。	・実施数2回	・実施数2回（延べ28人参加） 岩崎信子先生が「朗読の基本を学ぶ」講座を2回コースで行った。	A	・参加者のニーズや意見が分かると良い。 ・市民ニーズ調査が必要ではないか。	A	実施数2回
③ 閲覧席の充実、休憩や飲食コーナーを配置して居心地の良い空間を提供します。								
	施設管理等	施設管理等により読書環境を維持する。施設内外の環境美化、図書の破損・汚損防止に努める。	・案内誘導の強化、工夫 ・巡回点検、施設管理・補修・修繕・館外環境の整備（草刈・除雪等）	・クロちゃんのパネルを設置し誘導。 ・館内の巡回点検等、北口スポットライトの交換をした。	A	・綺麗に保っている。・1階にも子供達へのアピールがあると利用しやすい。・駐車場から入口がわかりづらい ・北口は車庫としか見えない。クロちゃんは近くに行かないと見えない。目立つ表示が必要。	A	・案内誘導の強化、工夫 ・巡回点検、施設管理・補修・修繕・館外環境の整備（草刈・除雪等）

施策目標	評価対象事業	中期的目標	令和5年度目標	令和5年度取り組み結果	自己評価	外部評価指摘事項	外部評価	令和6年度目標
2 地域の情報拠点、暮らしや仕事に役立つ図書館								
① 庁舎併設の利点を生かし、行政資料の積極的な収集・提供に努めます。								
	行政資料収集・提供	予算関係・事業報告・事業計画等の資料収集を行い、蔵書の充実を図る。	・積極的な情報収集、情報発信を行い、資料収集を図る。	収集対象資料 93冊 ・計画策定部署に提供依頼の働きかけを行い、積極的に収集を行った。	A		A	計画策定部署に提供の依頼をすると共に、情報の収集、情報の発信を行う。
② 広域ネットワークを利用した幅広い資料の提供を行います。								
	上田地域広域ネットワーク	ネットワークを活用して予約・貸出・返却の機能充実を図る。	・エコール管内での利活用拡大を図る。	Web予約冊 R5年度 65,669冊 (R4年度61,878冊)	A		A	エコール管内での利活用拡大を図る。

③ 農業、地場産業、観光に関する情報の収集に努めます。							
産業振興関連の蔵書収集	農業・地場産業・観光に関する蔵書の充実を図る。	・ワイン関係、農業、観光等書籍の拡充	・注目度の高いワインに関する蔵書の特設コーナーを設置し、市民の地場産業への関心を高めた。ワイン17冊・農業34冊・観光17冊購入した。	A	・地域の図書館としての特色が出せていて良い。	A	ワイン関係、農業、観光等書籍の拡充
④ インターネット、データベースを活用した情報提供の充実を図ります。							
インターネット利用による情報提供	インターネットの活用により課題解決の手助けを行う。	・インターネット利用 1,100件	・インターネット利用795件 (R4実績 791件)	B	・利用方法等を周知できると利用者が増えるのでは。 ・これからはインターネットが進むと思う。	B	インターネット利用 900件
⑤ レファレンスサービスの向上に努めます。							
レファレンスサービスの利用促進	身近なレファレンスサービスの実施。	・レファレンスサービスの実施 170件	・レファレンスサービスの実施 216件 (R4実績170件) ・質問しやすい雰囲気づくりを心がけた。	A		A	サービスの実施230件

施策	目標	評価対象事業	中期的目標	令和5年度目標	令和5年度取り組み結果	自己評価	外部評価指摘事項	外部評価	令和6年度目標
3 学校、家庭、地域との連携で子供たちを育てる図書館									
①ブックスタート事業や絵本の読み聞かせ等を行い、幼年期の読書環境の整備に努めます。									
	ブックスタート事業・幼児と絵本等	赤ちゃんと保護者が絵本を介して触れ合う時間を育てる。	・ブックスタート（10か月児健診）で絵本の出張プレゼント（毎月）絵本を介して親子の触れ合いの大切さを説明。	・ブックスタート（12回：173冊） ・幼児と絵本（7回：159人）2歳6か月児健診で絵本を楽しむ体験を実施	A	・良い取り組みができている。 ・2期、3期があるととても良い。一年生入学時にも配布できないか（その本を読書感想文対象にするとか）。	A	ブックスタートで絵本の出張プレゼント実施（毎月）絵本を介して親子の触れ合いの大切さを説明。	
②幼・保・小・中学校と連携し、学習活動の支援を行います。									
	学校・保育園等連携事業	学校図書館へ調べ学習の支援を行い、授業での図書の活用・利用促進を促す。	・調べ学習等貸出の実施 ・移動図書館車の保育園運行 ・学校と連携を強化して子ども読書活動の推進を図る。	・調べ学習等貸出の実施 延べ14回、135冊 ・移動図書館車保育園巡回、小学校授業参観日イベント運行を行った。	A	・参観日のイベント運行は図書館の良いアピールになる。園や学校と連携し本年度も実施した方が良い。	A	・調べ学習貸出の実施 ・移動図書館車の保育園運行	
③学校・家庭と連携し、子供の読書環境の整備充実を図ります。									
	よみかせ講座事業	読書・読み聞かせ講座等を開設し、読み聞かせの楽しさへの理解を深める。	・読み聞かせのための講座を開催する。読み聞かせ活動をする人のスキルアップに努める。	・いきいき読書講座の開催（6月・1月） ・読み聞かせの基本についての講座を行った。	A	・PTA活動とのコラボができると良いのではないかと。 ・充実していないと思うので更なる充実を期待する。 ・これからも努力する。	A	読み聞かせのための講座を開催する。読み聞かせ活動をする人のスキルアップに努める。	

④地域の高校生、専門学校生、大学生にも親しめる学習場所として、若者の創造性を培う環境の整備に努めます。							
実習・研修受入れ事業	職場体験により、図書館への理解を深める。	・職場体験等の受入指導内容の点検を行い、より効果的な指導を目指す。	・実習受入を実施。職業に従事する機会を与えた。 (東部中3人・北御牧中2人・丸子修学館高校1人)	A		A	・職場体験等の受入指導内容の点検を行い、より効果的な指導を目指す。

施策	目標	評価対象事業	中期的目標	令和5年度目標	令和5年度取り組み結果	自己評価	外部評価指摘事項	外部評価	令和6年度目標
4 地域文化を創造し、市民協働による図書館									
①市民の学習活動、文化活動等を活発に展開します。									
		文化活動支援	市民の求めに応じた出前講座を行い、地域の文化活動を支援する。	・出前講座の実施 地域に伝わる身近な昔話等を紹介し郷土を愛する心を育む。	・出前講座を2件実施した。 (北御牧児童館児童クラブ・北御牧子育て支援センター)	A	・児童クラブや子育て支援センターへの定期的な訪問が広がると良い。 ・もっとアピールしてもよいのでは(東御の歴史等)。	A	・出前講座の実施 本や紙芝居などを通してお話の世界を楽しみ、豊かな心を育む。
②市民が参画できるような、図書館運営を目指します。									
		イベントへの市民参加	朗読会・図書館まつり等に市民から協力を求め、企画段階から参加し、協働運営を目指す。	・市民協働イベントの開催 (図書館まつり・朗読会)	・9月開催の朗読会では企画段階から参加者自らが主体となり、選書に参加し、舞台装飾も考案した。	A		A	市民協働イベントの開催 (図書館まつり・朗読会)
③図書館ボランティアの育成に努め、活動を支援します。									
		朗読ボランティア育成	朗読ボランティアへの活動支援を行い、レベルアップを図る。	・育成支援活動の実施(朗読講座、朗読会)	・朗読会を開催するにあたって、技術向上のための指導会を実施した。	B	児童クラブ等のスタッフへの朗読方法の指導ができると更に良い。	A	育成支援活動の実施(朗読講座、朗読会)